



地球環境保護活動 イビデンの森

～ イビデン㈱ ～



「イビデンの森 第2回植樹祭」 集合写真

イビデングループは2008年度より、地球環境保護活動の一環として、当社グループの起源である水力発電事業のゆかりの地を中心拠点とした森林再生活動を進めている。

今後10年間にわたり揖斐川町の東横山地内「イビデンの森 東横山」、同町の鶴見地内「イビデンの森 ふじはし」の2ヶ所で植樹や間伐、除伐などを行う。二酸化炭素削減による地球温暖化防止の役割を担い、持続可能な地球環境との共存を目指す。

「イビデンの森 東横山」において、2008年11月16日（日）と2009年4月11日（土）の2回にわたり植樹活動を行い、竹中社長をはじめイビデングループ社員とその家族、地域ボランティアなど延べ350名が参加した。参加者はサクラ、ハナモモ、ヤマボウシなどの大苗を1本ずつ丁寧に植樹し、自分たちの名前や思いを記した木製プレートを据え付け、木々の成長を祈った。植樹後には、間伐材を活用してプランターやマイ箸などを作る”ものづくり体験”も開催。参加した子どもたちに、ものづくりの楽しさや自然の大切さを感じてもらうことができた。